

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

1-1-3

事務事業名	国営芽室川西地区土地改良事業参画事業	所属部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【事業内容】 国営かんがい排水事業芽室川西地区により、北海道開発局と連携し、美生ダムの機器更新・補修、また、小水力発電施設の整備、帯広かわにし導水路の整備を進める。</p> <p>【課題】 1 令和8年度供用開始となる小水力発電施設に係る条例、規則及び規約の整備が必要となる。 2 令和8年度から売電収入を受けるために小水力発電施設の管理受託を開発局と協定を締結する必要がある。 3 帯広市との共同管理施設については、芽室町が事務の委託を受けるため、地方自治法に基づく手続きが必要となる。 4 現在実施中の補助事業である「基幹水利施設維持管理事業」は、帯広市との共同管理により計画変更を実施する必要がある。</p>
--

<p>【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】</p> <p>【解決策】 1 令和8年度から始まる発電事業は、新たに特別会計を設置し運用する。また、小水力発電施設は新たな施設であることから、管理に係る条例、規則及び規約等の整備を行う。これらは、8月に所管委員会への説明を行い、9月定例会の議決を目指す。 2 売電収入を芽室町が受けるために必要となる開発局との「管理受託協定」については、小水力発電施設完成後、引き渡し手続きを行い、現協定「芽室地区」に小水力発電施設を追加した管理受託協定の変更手続きを行う。現在、施設完成時期について調整中である。調整が整い次第、改めて協議を行い、9月議決予定の条例等を精査する。 3 帯広市からの事務の委託を受けるため、事務委託に係る規約を制定し、議会の議決を受け、10月以降に北海道へ届出を行う。帯広市と規約の内容について精査する。 4 基幹水利事業の計画変更は議会の議決が必要であることから、9月に提案を行い、10月以降に関係受益者へ同意徴収を行う。徴収後、速やかに変更手続きを行う。</p>

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	0	0	0	0	0
	事業費計	円					

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

1-1-3

事務事業名	国営十勝川左岸2期地区土地改良事業参画事業	所属部門	農林課 土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)		
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【事業内容】 国営かんがい排水事業十勝川左岸2期地区により、老朽化が著しい農業用水施設の改修、水需要の変化に対する用水再編と併せて新たな灌漑用水を確保する。 また、農業用排水施設で近年の降雨状態の変化から、能力不足が生じている排水路の再整備を進める。</p> <p>【検討課題】 ・排水路の改修に向け、事業の円滑な推進を図るため関係受益者の理解を得ながら事業推進を図る必要がある。 ・橋梁改修箇所や橋梁幅員など地元要望を踏まえた協議・調整が必要である。</p>
--

<p>[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]</p> <p>【解決策】 ・事業実施前年度までに関係する受益者に対し、工事説明や用地買収の範囲など丁寧な説明を行い、理解を得る。 ・橋梁改修は、現在の大型機械が通行可能な幅員(W=6.5m)とし、10か所の町道橋及び耕作橋の改修を実施する。 ・令和7年度は、令和6年度工事完了地点から上流に向け約300mを実施予定。</p>

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円					
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円					
	一般財源	円	0	0	0	0	0
	事業費計	円					

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号 1-1-3

事務事業名	団体営土地改良事業	所属部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>町が事業主体となる「畑作等促進整備事業」により小規模基盤整備を進める。 また、町が管理する明渠排水路の緊急性を有する路線を、国の事業を活用し改築を進める。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>農地・明渠排水路</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農業生産の基盤となる農地や排水路の整備により、農業生産性の向上を支援する。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>農地や排水路の整備による農業生産性の向上により、担い手支援に結び付く。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	事業費	円
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	農地	ha
②	明渠排水路	km
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	整備面積	ha
②	整備延長	km
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	整備済み面積	ha
②	整備済み延長	km
③		

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>近年の気候変動に伴う集中豪雨等へ備えるため、排水路における局所的な倒壊箇所の改修や、小規模な基盤整備に対する要望に的確に対応していく必要がある。</p>	<p>2. 今後の取組 <small>(2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</small></p> <p>排水路更新整備については、令和6年度に採択を受けた祥栄第2号幹線排水路(祥栄地区)を、令和7年度より3か年計画で更新整備を実施する。 小規模な基盤整備については、令和7年度に伏古地区暗渠排水工事を実施する。</p>
--	--

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円			28,011,940	37,171,000	35,360,000
	地方債	円			11,000,000	14,000,000	14,900,000
	その他(使用料等)	円				5,615,000	
	一般財源	円	0	0	3,220,350	3,289,000	1,940,000
	事業費計	円			42,232,290	60,075,000	52,200,000
活動指標	①	円			42,232,290	60,075,000	52,200,000
	②						
	③						
対象指標	①	ha			20,282	20,282	20,282
	②	km			236.8	236.8	236.8
	③						
成果指標	①	ha			0	1.8	0
	②	km			0.03	0.10	0.20
	③						
上位成果指標	①	ha			0	0	1.8
	②	km			0.21	0.24	0.34
	③						

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号

1-1-3

事務事業名	土地改良施設維持管理協議会参画事業	所属部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない			

<p>【事業の概要・現状・課題】</p> <p>【事業概要】 国営総合パイロット事業御影地区(清水町・芽室町)・十勝川左岸地区(音更町・清水町・芽室町)・美蔓地区(清水町・鹿追町・音更町・芽室町)で、かんがい排水事業により整備した施設の維持管理を実施するため、維持管理協議会を設置し管理している。維持管理の負担割合は受益面積に占める各町の割合と必要水量に占める各町の割合を平均し算出している。 事務局は、基幹施設のある町を基本とし、御影地区農業用水施設維持管理協議会、十勝川左岸地区畑地かんがい施設維持管理協議会は清水町、美蔓地区畑地かんがい施設維持管理協議会は鹿追町が行い、用水管理を実施している。</p> <p>【課題】 国営かんがい排水事業芽室川西地区実施に伴う美生ダムの水源供用により、芽室町と帯広市による維持管理協議会運営が見込まれる。</p>
--

<p>【2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法】</p> <p>【事業の方向性】 国営事業によりかんがい用水基幹施設が整備されたことから、道営事業を活用して末端施設整備を進め、かんがい施設普及促進を図るとともに、農業生産に必要な水量が安定的に確保されるよう継続的に維持管理を実施する。</p> <p>【解決方法】 北海道開発局、帯広市、芽室町の担当部署で構成する芽室川西地区維持管理検討協議会(R1.11.6設立)を芽室川西地区維持管理協議会(帯広市、芽室町)とする。協議会運営については芽室町が行い、共同管理施設の維持管理を実施する。 2026年より協議会負担金に畑地かんがい用水使用料を充当する。</p>
--

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円					12,360,000	
	一般財源	円	12,336,000	12,360,000	12,360,000	12,360,000	0	
	事業費計	円	12,336,000	12,360,000	12,360,000	12,360,000	12,360,000	

2025年度(2024年度実績)事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号 1-1-3

事務事業名	土地改良施設維持管理事業	所属部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改進黨業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>【現状】 国営及び道営事業などの農業基盤整備により、明渠排水路が整備され、土地改良施設として町が維持管理を行っている。</p> <p>【課題】 近年、ゲリラ豪雨や台風により、農用地からの土砂が排水路に流入し、土砂堆積により流下能力が低下している状況がある。排水路は農用地からの暗渠排水を受け、農用地の湿害を防ぐ重要な土地改良施設であるため、床さらいなどの維持管理は必要不可欠である。</p>	<p>2. 今後の取組 <small>(2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</small></p> <p>経営規模拡大や道営土地改良などの整備による暗渠排水落口の増加、また、局所的な豪雨が多発傾向にあるなかで、明渠排水路の機能保全に伴う定期的な維持管理は必要不可欠であり、今後も有利な事業を活用しながら継続的な実施が必要である。</p> <p>また、2026年度から小水力発電事業の売電収入を修善費として使用できるため、修繕計画を立てて土地改良施設の維持管理を行う。</p>
---	---

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	125,235,258	62,156,681			
	地方債	円		22,100,000	6,000,000	6,000,000	
	その他(使用料等)	円	2,792	3,202,894	7,439,937	137,000	57,390,000
	一般財源	円	55,539,755	38,808,823	1,726,550	7,246,000	25,868,000
	事業費計	円	180,777,805	126,268,398	15,166,487	13,383,000	83,258,000
活動指標	①	円	13,085,600	50,285,400	14,116,300	12,100,000	82,100,000
	②						
	③						
対象指標	①	km	236.8	236.8	236.8	236.8	236.8
	②						
	③						
成果指標	①	km	1.6	2.4	9.6	3.0	3.0
	②						
	③						
上位成果指標	①	km	233.0	236.8	236.8	236.8	236.8
	②						
	③						

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>国営及び道営基盤整備事業等で整備された明渠排水路を維持管理することにより、農用地の冠水防止及び湿害対策につながる。</p>	<p>※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定 (必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)</p>	<p>5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th>①</th> <th>維持管理経費</th> <th>円</th> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①	維持管理経費	円	②			③		
①		維持管理経費	円								
②											
③											
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>国営及び道営基盤整備事業等で整備された明渠排水路。</p>	<p>6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th>①</th> <th>明渠排水路延長</th> <th>km</th> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①	明渠排水路延長	km	②			③			
①	明渠排水路延長	km									
②											
③											
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>ゲリラ豪雨や大雨災害による農用地の冠水及び湿害の防止が図られる。</p>	<p>7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th>①</th> <th>明渠排水路の床さらい及び法面補修</th> <th>km</th> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①	明渠排水路の床さらい及び法面補修	km	②			③			
①	明渠排水路の床さらい及び法面補修	km									
②											
③											
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>農用地の防災・減災が図られ、農作物の生産性向上が図られる。</p>	<p>8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th>①</th> <th>良好に管理されている明渠施設の延長</th> <th>km</th> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	①	良好に管理されている明渠施設の延長	km	②			③			
①	良好に管理されている明渠施設の延長	km									
②											
③											

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画
施策番号 1-1-3

事務事業名	土地改良等償還事業	所属部門	農林課 土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)		
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

[事業の概要・現状・課題]	
<p>【事業概要】 土地改良事業は、土地改良法に基づき地元農家や自治体からの申請により実施する事業であり、事業により恩恵を受ける受益者から負担金を徴収することができる事業である。 安定した農業経営を実施するために、農業生産性の向上を目的として国営事業により排水整備等に基盤整備を実施し、対象受益者からの負担金償還を事業完了後から行っており、町が対象受益者から負担金を徴収し関係機関へ償還している。</p>	

[2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法]

国営御影地区受益者負担金については、利息相当額を経営安定対策基盤整備緊急支援事業より補填する。国営御影地区にかかる償還は2025年で完了となる。
 現在事業実施中の国営芽室川西地区の償還に関しては令和11年度からの償還を予定する。

		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
事業費	国・道支出金	円						/
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	9,879,303	6,045,409	5,654,260	5,647,000		
	一般財源	円	36,285	17,142	12,958	15,000	0	
	事業費計	円	9,915,588	6,062,551	5,667,218	5,662,000		

2025年度（2024年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号 1-1-3

事務事業名	道営土地改良事業参画事業	所属部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>【現状】 R6年度は、4地区(モデル地区含む)の整備を実施。 ・芽室北第3地区 事業期間 H29～R6 ・美生第2地区 事業期間 R5～R13 ・美生第3地区 事業期間 R6～R14 ・芽室びせい地区 事業期間 R2～R6(モデル事業) ・上美生第3地区 事業期間 R5～R6(調査計画)</p> <p>【課題】 意欲の高い農業者から地域状況の課題に応じた基盤整備要望がある。</p>	<p>2. 今後の取組 (2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</p> <p>【今年度実施予定】 今年度は、3地区の整備を実施。 ・美生第2地区 事業期間 R5～R13 ・美生第3地区 事業期間 R6～R14 ・上美生第3地区 事業期間 R7～R17</p> <p>【解決策】 事業推進目標となる「中長期計画」に基づき、事業主体と調整を図りながら、実施地区3地区を基本とした計画的な事業推進を図る。</p>
--	--

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	104,565,735	63,371,908	77,314,920	105,150,000	152,769,000
	地方債	円	178,600,000	90,200,000	22,700,000	29,500,000	59,400,000
	その他(使用料等)	円	51,354,262	25,394,229	51,300,554	46,372,000	106,589,000
	一般財源	円	38,184,929	26,062,255	11,303,864	36,682,000	18,655,000
	事業費計	円	372,704,926	205,028,392	162,619,338	217,704,000	337,413,000
活動指標	①	円	232,551,215	205,028,392	162,619,338	217,704,000	337,413,000
	②						
	③						
対象指標	①	ha	20,519	20,250	20,282	20,282	20,282
	②						
	③						
成果指標	①	ha	201	54	102	234	361
	②						
	③						
上位成果指標	①	ha	20,671	20,725	20,826	21,060	21,421
	②						
	③						

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>北海道が事業主体となる「道営土地改良事業」に参画し、農村地域を巡回する形で、農地の基盤整備を進める。 受益者の事業申請に基づき、暗渠排水、客土、除礫、区画整理、畑地かんがい用水、明渠排水等の整備を実施し、補助事業費残額分を受益者及び町で負担している。 主に道営事業の計画から実施に伴う地元調整を町が担っている。</p>	<p>※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定 (必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)</p>	<p>5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>① 事業費町負担額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>		単位	① 事業費町負担額	円	②		③	
		単位								
① 事業費町負担額		円								
②										
③										
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>農地</p>	<p>6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>① 農地面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>		単位	① 農地面積	ha	②		③		
	単位									
① 農地面積	ha									
②										
③										
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>農業生産の基盤となる農地等の整備により、農業生産性の向上と担い手の支援を行う。</p>	<p>7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>① 整備面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>		単位	① 整備面積	ha	②		③		
	単位									
① 整備面積	ha									
②										
③										
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>農地等の基盤整備による農業生産性の向上により、担い手の支援に結びつける。</p>	<p>8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>① 土地改良事業整備済み面積</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> </tr> </table>		単位	① 土地改良事業整備済み面積	ha	②		③		
	単位									
① 土地改良事業整備済み面積	ha									
②										
③										

2025 年度（2024 年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画
施策番号 1-1-3

事務事業名	農業用水施設維持管理事業	所属 部門	農林課	土地改良係
町長公約	計画的・効果的な土地改良事業の実施(国営事業・道営事業・団体営事業)			

◆ 事務事業の現状と今後の取組

<p>1. 事務事業の現状と課題</p> <p>道営事業による畑地かんがい用水管路の新規路線の施工により、安定した農業経営に向けた整備が進んでいる。また、国営かんがい排水事業芽室川西地区により、美生ダムを利用した小水力発電施設をR8供用開始に向け整備している。</p> <p>【課題】 道営事業の実施により用水管路施設が拡大し、管理対象施設が増加している。近年は美生ダム施設及び用水管路、肥培かんがい管路の老朽化に伴う不具合や漏水等が多発していることから、維持管理経費が増大していくことが懸念される。</p>	<p>2. 今後の取組 <small>(2025年度及び2026年度以降の方向性・課題の解決方法)</small></p> <p>国営事業により老朽化した施設の更新を実施することで維持管理費の軽減が見込まれる。なお、令和8年度からは売電収入が見込めるため今後の維持管理費用への充当も可能となり、維持管理費の軽減が図れる。</p>
--	--

◆ 事務事業の目的と効果

<p>1. 手段(事業の概要)</p> <p>国営芽室地区(美生ダム施設)、御影地区、十勝川左岸地区、美蔓地区の用水管路の維持管理を行う。</p>
<p>2. 対象(何を対象にしているか)</p> <p>美生ダム、畑地かんがい用水管理。</p>
<p>3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか)</p> <p>畑地かんがい施設の適切な維持管理により農業用水の安定供給が図れる。</p>
<p>4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつか)</p> <p>農産物の品質向上、適期適量の散水による安定した農業体系、防除用水設備による作業効率向上が図られ、農産物の増産につながる。</p>

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定

(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)		単位
①	維持管理経費	円
②		
③		

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位
①	町が管理するダム数	基
②	町が管理する農業用水施設の延長	km
③		

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位
①	美生ダム取水量	千m3
②	農業用水施設の整備延長	km
③		

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位
①	利用できる農業用水施設の延長	km
②		
③		

内訳		単位	2021年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円	17,175,000	26,485,000	26,916,000	29,956,000	31,477,000
	地方債	円					
	その他(使用料等)	円	38,121,503	38,334,327	38,497,552	39,053,000	44,474,000
	一般財源	円	-6,010,706	-5,252,146	-4,808,238	3,991,000	0
	事業費計	円	49,285,797	59,567,181	60,605,314	73,000,000	75,951,000
活動指標	①	円	49,285,797	59,474,781	60,605,314	73,000,000	75,951,000
	②						
	③						
対象指標	①	基	1	1	1	1	1
	②	km	445	464	464	464	464
	③						
成果指標	①	千m3	6,146	7,082	6,701	6,701	6,701
	②	km	12	11	0	0	0
	③						
上位成果指標	①	km	432	452	463	464	464
	②						
	③						